



## C コマンド

---

この章では、C で始まる Cisco NX-OS レイヤ 3 インターフェイス コマンドについて説明します。

# clear ip arp

アドレス解決プロトコル（ARP）情報を消去するには、**clear ip arp** コマンドを使用します。

**clear ip arp** [*ip-addr* | **ethernet slot/port**[*.sub\_if*] | **loopback if\_number** | **port-channel number**[*.sub\_if\_number*]] [**force-delete** | **statistics**] [**vrf vrf-name** | **all** | **default** | **management**]

## 構文の説明

<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 送信元アドレス。形式は x.x.x.x です。
<b>ethernet slot/port</b>	(任意) イーサネット インターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<i>sub_if</i>	(任意) イーサネット サブインターフェイスのポート番号を指定します。有効な範囲は 1 ~ 48 です。
<b>loopback if_number</b>	(任意) ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
<b>port-channel number</b>	(任意) EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
<i>.sub_if_number</i>	(任意) サブインターフェイス番号。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>force-delete</b>	(任意) リフレッシュを使用せずに ARP テーブルからエントリを消去します。
<b>statistics</b>	(任意) ARP 統計情報を消去します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) 仮想ルーティングおよび転送（VRF）コンテキスト名を指定します。名前には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
<b>all</b>	(任意) すべての VRF エントリから ARP 情報をクリアします。
<b>default</b>	(任意) デフォルト VRF から ARP 情報をクリアします。
<b>management</b>	(任意) 管理 VRF から ARP 情報をクリアします。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、ARP テーブルをクリアする例を示します。

```
switch# clear ip arp
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip arp</b>	ARP に関する情報を表示します。

# clear ip interface statistics

IP インターフェイス統計情報を消去するには、**clear ip interface statistics** コマンドを使用します。

## clear ip interface statistics

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンドデフォルト

なし

### コマンドモード

任意のコマンドモード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、IP インターフェイス統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip interface statistics
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
show ip interface	IP インターフェイス情報を表示します。

# clear ipv6 icmp interface statistics

Internet Control Message Protocol version 6 (ICMPv6) に関する統計情報を消去するには、**clear ipv6 icmp interface statistics** コマンドを使用します。

```
clear ipv6 icmp interface statistics [type number]
```

## 構文の説明

<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。? を使用してサポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。? を使用して範囲を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

## 例

次に、ICMPv6 統計情報を消去する例を示します。

```
switch(config-if)# clear ipv6 icmp interface statistics
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 icmp	インターフェイスに ICMPv6 を設定します。

# clear ipv6 nd interface statistics

Neighbor Discovery (ND; ネイバー探索) に関する情報を消去するには、**clear ipv6 nd interface statistics** コマンドを使用します。

```
clear ipv6 nd interface statistics [type number]
```

## 構文の説明

<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。? を使用してサポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。? を使用して範囲を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

## 例

次に、ND 情報を消去する例を示します。

```
switch(config-if)# clear ipv6 nd interface statistics
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 nd	インターフェイスに ICMPv6 ND を設定します。

# clear ipv6 neighbor

IPv6 ネイバーを消去するには、**clear ipv6 neighbor** コマンドを使用します。

**clear ipv6 neighbor** [*type number*] [**force-clear**] [**vrf vrf-name**]

構文の説明	
<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。? を使用してサポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。? を使用して範囲を表示します。
<b>force-clear</b>	(任意) リフレッシュを使用せずに IPv6 ネイバー キャッシュを消去します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。63 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **clear ipv6 neighbor** コマンドを使用し、IPv6 隣接関係テーブルを消去します。このコマンドにライセンスは必要ありません。

**例** 次に、IPv6 ネイバーを消去する例を示します。

```
switch# clear ipv6 neighbor
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ipv6 nd	インターフェイスに ICMPv6 ND を設定します。